

大学生のリメディアル教育 その開発と実施

2004年9月2日(木)

時間	講義項目
10:00 ~ 11:00	<p>プレースメントテストの開発と大学生の学力低下の現状 ~ “基礎学力” 調査の実態と問題の所在 ~</p> <p>メディア教育開発センター 小野 博</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入試の多様化と学力低下問題 2. 米国の大学におけるプレースメントテストとリメディアル教育 3. プレースメントテストの開発 4. プレースメントテストの試行実施と結果 5. 今後の計画 <p>質疑応答</p>
11:10 ~ 12:10	<p>コンピュータを利用した適応型テスト ~ 簡便なプレースメントテストの実現 ~</p> <p>メディア教育開発センター 西森 年寿</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適応型テストとは何か? そしてその利点とは? 2. 適応型テストはどうやって作成されるか? 3. コンピュータ適応型テストを実際に体験する <p>質疑応答</p>
昼 食	
13:00 ~ 14:00	<p>日本人大学生の“日本語力”とリメディアル用教材 ~ 「レポートが書けない学生」への教育支援策 ~</p> <p>東京農工大学 馬場 眞知子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポートが書けない大学生って? ~イマドキの大学生気質 2. 日本語リメディアルに必要なこと 3. 日本語リメディアル用教材とは ~ 語彙、漢字からパラグラフィティングまで <p>(1) 気づかせる (2) 考えさせる (3) おもしろいと思わせる (4) やる気を出させる (5) 自信をつけさせる</p> <p>質疑応答</p>
14:10 ~ 15:10	<p>大学生の“英語力”とリメディアル教育 ~ 基礎学力の確認と教育補助・教材開発 ~</p> <p>千葉商科大学 酒井 志延</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の落ちこぼれが大学に入る 2. 今までは、落ちこぼれを無視 3. 今後は、鍛えて卒業させる 4. 大学生の落ちこぼれの特徴は 5. 発見し、診断し、力をつける <p>質疑応答</p>
15:20 ~ 16:20	<p>理数系科目のリメディアル教育と教材開発 ~ 基礎学力の確認と教育支援 数学から理科へ ~</p> <p>千歳科学技術大学 小松川 浩</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新課程導入と大学基礎教育(理数系) 2. e-Learningの可能性 3. リメディアル教育に必要なe-Learning 4. 高大連携による教材開発(事例紹介) 5. e-Learningを介した効果的な授業展開(事例紹介) <p>質疑応答</p>
16:30 ~ 17:00	<p>e-learningにおけるドロップアウト軽減策 ~ 大学教育の進化と今後 及びまとめにかえて ~</p> <p>メディア教育開発センター 小野 博</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どんな学習がe-Learningに向いているか 2. リメディアル教育における集中学習と離散学習 3. リメディアル教育でe-Learning成功するための学内の役割分担 4. 検証実験で見るドロップアウト軽減策 5. 今後の展開 <p>質疑応答</p>